

「川崎市総合計画」第3期実施計画・中間評価結果【概要版】

1 趣旨

「川崎市総合計画」第3期実施計画（以下「第3期実施計画」という。）における施策等について、計画期間の前半に当たる令和4年度及び令和5年度の評価結果並びに「川崎市政策評価審査委員会」からいただいた意見等を取りまとめました。

2 川崎市総合計画における進行管理・評価

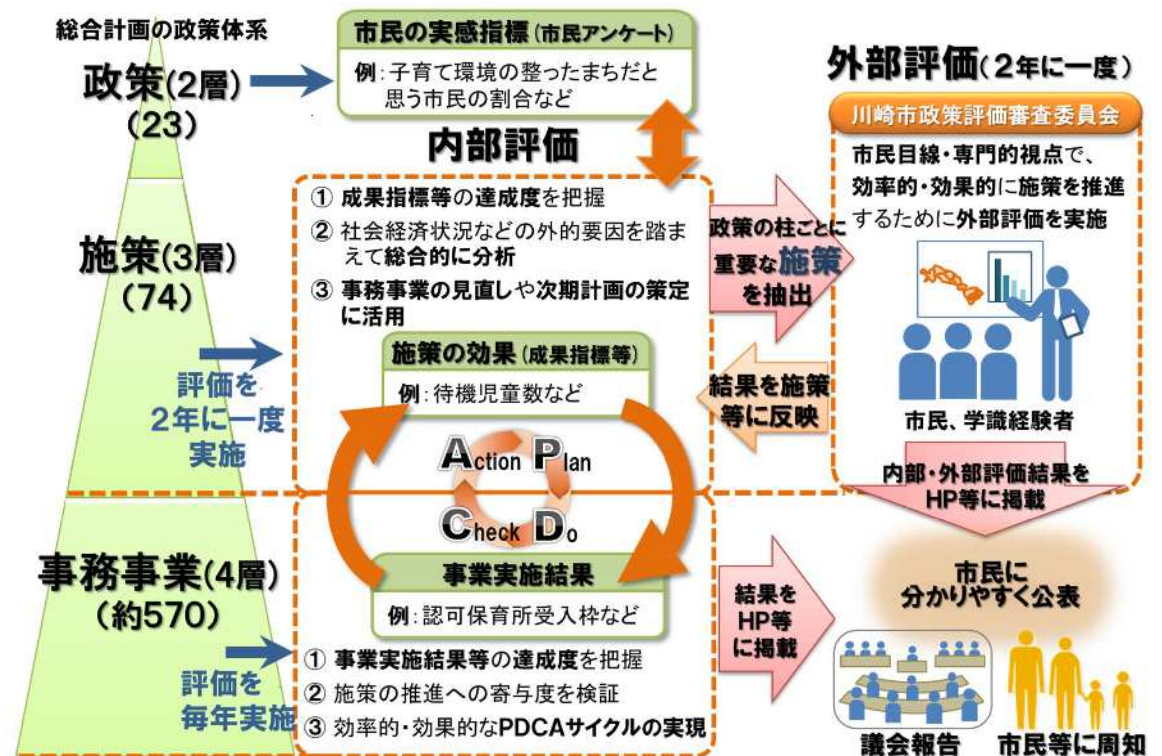
（冊子資料 5 ページ）

総合計画では、どのように市の取組を推進すれば、よりよい成果が得られるかなどについて、市民の実感も踏まえて、内部・外部の視点により検証しながら進行管理を実施しています。

（1）施策・事務事業の評価

- 施策の評価については、施策ごとに設定した成果指標等を活用し、市の取組とその効果との関係を中期的な視点で検証しながら、効果的な事業の見直しや次期計画の策定につなげるため、2年に一度実施します。
- 事務事業の評価については、着実な進行管理を行うために、毎年実施します。

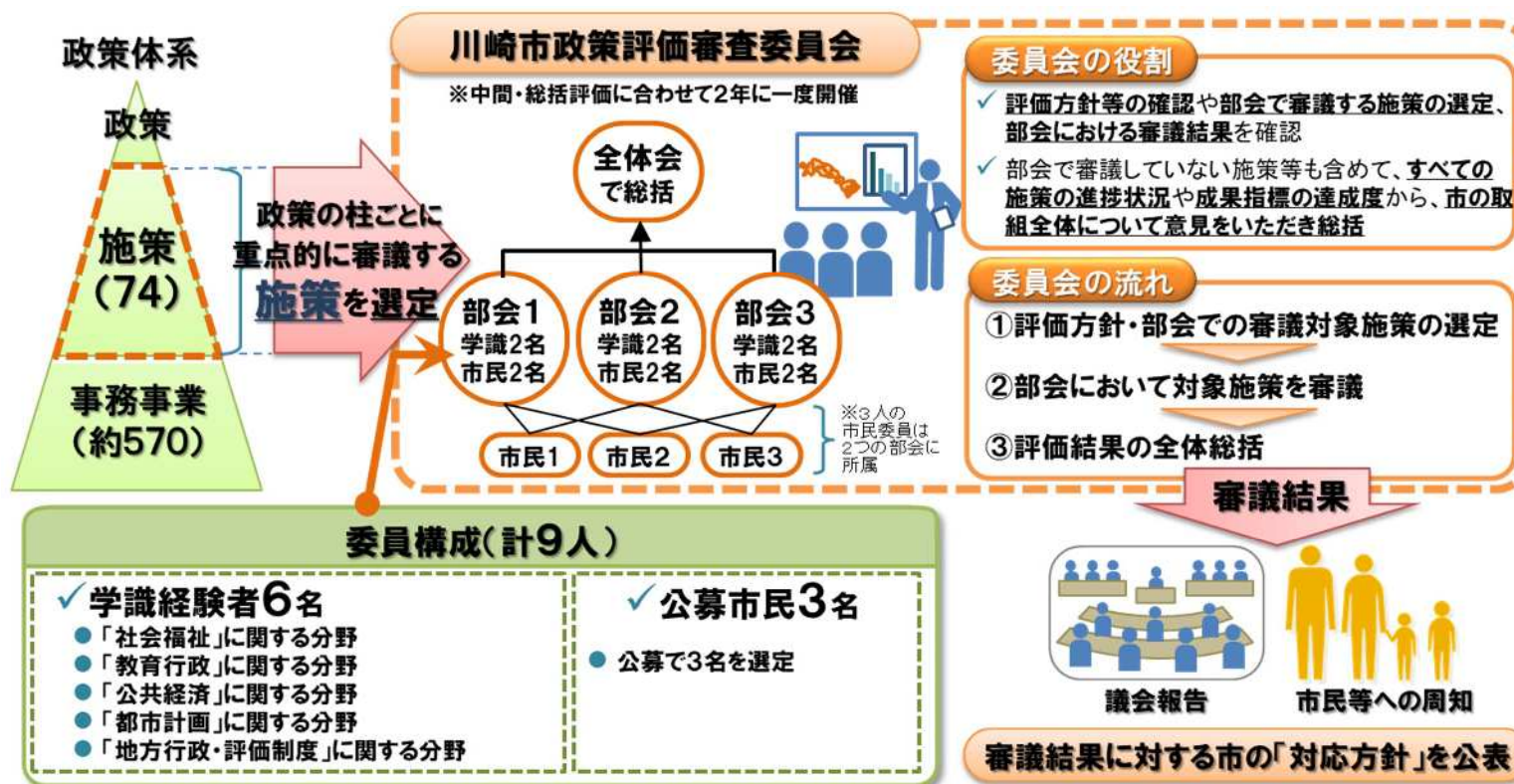
＜図1 総合計画における進行管理の全体概要＞



（２）川崎市政策評価審査委員会による外部評価

- 総合計画における重要な政策等の評価に関して調査審議するため、「川崎市政策評価審査委員会」を附属機関として設置し、学識経験者の専門的視点や市民目線による評価を実施し、より効果的に施策を推進します。
- 外部評価の対象は、委員の意見も踏まえ、政策ごとに施策を選定し、領域別に分けた部会の中で、施策の説明を十分に行い、市の取組を重点的に審議します。
- 委員会が出された意見については、市の対応方針を作成・公表し、今後の取組改善や次期計画に活用します。

<図２ 川崎市政策評価審査委員会のイメージ>



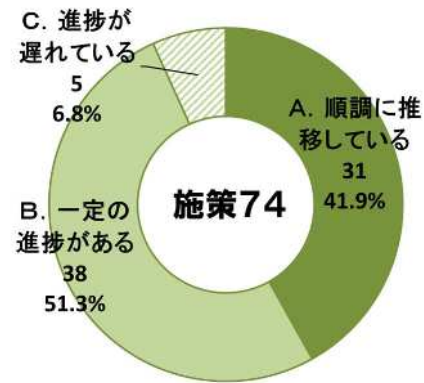
(1) 施策の進捗状況

- 第3期実施計画における74の施策について「A. 順調に推移している施策」が31件(41.9%)、「B. 一定の進捗がある施策」が38件(51.3%)、「C. 進捗が遅れている施策」が5件(6.8%)、「D. 進捗が大幅に遅れている施策」はありませんでした。
- 成果指標の多くが目標を達成した「A. 順調に推移している施策」と、目標未達成のものがあるが一定の進捗があった「B. 一定の進捗がある施策」を合わせた割合は93.2%であり、第3期実施計画の目標に向かって、概ね順調に施策が推進しているものと考えます。
- なお、「C. 進捗が遅れている施策」としては、利用者数やアンケート結果が目標に届かなかったことなどにより、成果指標が第1期実施計画策定時を下回ったものや、配下の事務事業のうち複数の事業に遅れが見られたものなどがありました。

＜表1 施策の基本政策別 進捗状況区分の内訳＞

施策の進捗状況区分	基本政策1	基本政策2	基本政策3	基本政策4	基本政策5	区分合計	割合
A 順調に推移している (目標達成している)	11	1	3	12	4	31	41.9%
B 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している)	11	8	4	13	2	38	51.3%
C 進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	1	1	1	2	0	5	6.8%
D 進捗が大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	0	0	0	0	0	0	0.0%
合 計	23	10	8	27	6	74	100.0%

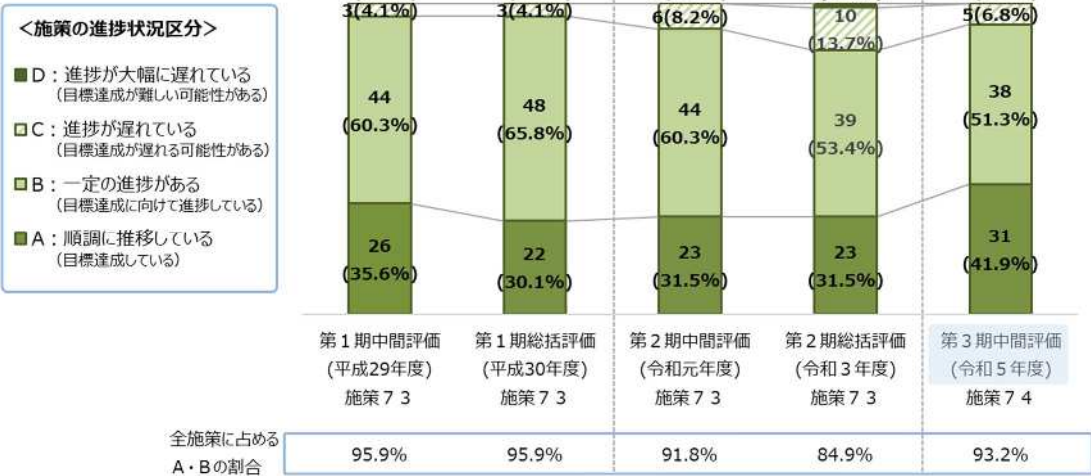
＜図3 施策の進捗状況区分別件数・構成比＞



＜表2 進捗状況区分Cの施策＞

施策	施策名
施策1-4-3	高齢者が生きがいを持てる地域づくり
施策2-3-2	自ら学び、活動するための支援
施策3-3-1	協働の取組による緑の創出と育成
施策4-8-2	市民の文化芸術活動の振興
施策4-8-3	音楽や映像のまちづくりの推進

＜図4 施策の進捗状況の推移＞



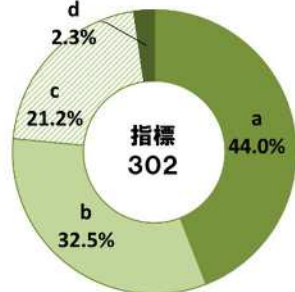
(2) 施策に設定した成果指標の達成状況

- 第3期実施計画における74の施策に設定した成果指標は312個あり、そのうち、目標値に達している指標（指標達成度区分a）は133個（44.0%）、目標値に達してはいないものの、第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）から一定進捗している指標（指標達成度区分b）は98個（32.5%）、第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）を下回った指標（指標達成度区分c）は64個（21.2%）、令和5年度時点の目標値からみた目標達成率が60%未満の指標（指標達成度区分d）は7個（2.3%）ありました。
- 今後、集計値が確定するものなど、現時点で達成度が出ない指標10個を除き、「指標達成度区分aとb」を合わせた割合は76.5%であり、そのうち「指標達成度区分b」については、目標達成率の平均が90.1%となりました。また、第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）を下回った「指標達成度区分c」については、目標達成率の平均が83.0%となっています。第1期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）を下回った原因は様々であることから、原因分析の結果を踏まえて、今後、目標達成に向けて取組を改善していきます。

○ <表3 成果指標の基本政策別 達成度区分の内訳>

指標達成度区分	基本政策1	基本政策2	基本政策3	基本政策4	基本政策5	区分合計	割合	割合(※1含まない)	目標達成率の平均
a 目標値以上	51	15	15	43	9	133	42.6%	44.0%	114.9%
b 1期策定時の現状値(又は個別設定値)以上～目標値未満	38	25	10	20	5	98	31.4%	32.5%	90.1%
c 目標達成率60%以上～1期策定時の現状値(又は個別設定値)未満	16	24	4	18	2	64	20.5%	21.2%	83.0%
d 目標達成率60%未満	3	0	1	3	0	7	2.3%	2.3%	39.2%
現時点で達成度が出ない指標※1	4	0	0	6	0	10	3.2%		
合計(※1を除く)	108	64	30	84	16	302			
合 計	112	64	30	90	16	312	100%		

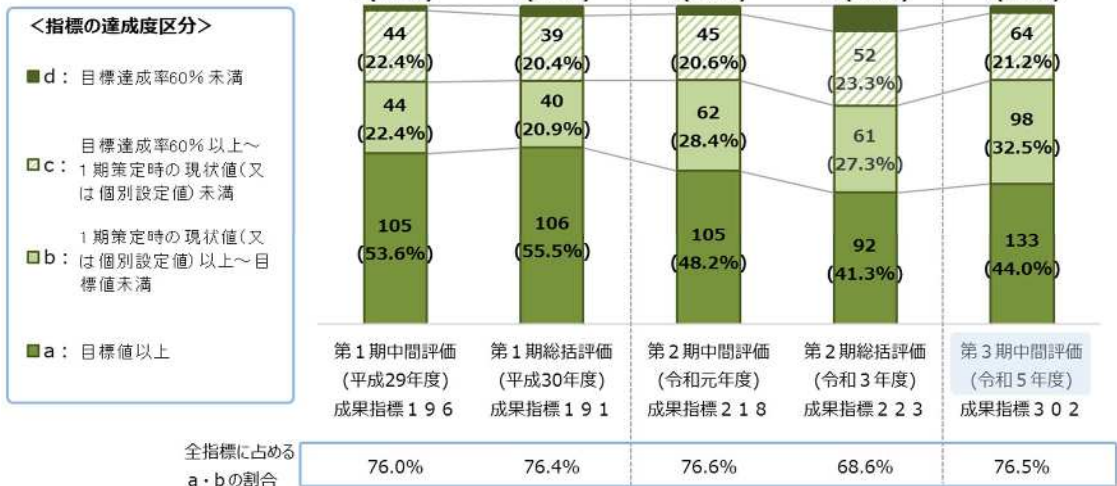
<図5 指標の達成度区分別構成比>



<表4 指標達成度区分がdの指標>

施策名	指標名
施策1-4-1 総合的なケアの推進	介護予防の取組として、地域の活動に参加する人の割合(%)
施策1-4-2 高齢者福祉サービスの充実	介護人材マッチング・定着支援事業の求職者のうち就職した人数(人)
施策1-4-7 生き生きと暮らすための健康づくり	特定保健指導実施率(国民健康保険)(%)
施策3-3-5 多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進	渡し場イベントの参加者数(人)
施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成	市内商店街で行われる新たな顧客の創出や商店街の回遊性を高めるイベントの開催数(回)
施策4-1-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成	知的財産交流会におけるマッチングの年間成立件数(件)
施策4-8-3 音楽や映像のまちづくりの推進	「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合(%)

<図6 指標の達成度の推移>



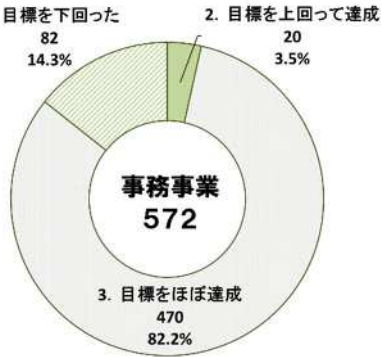
(3) 事務事業の達成状況

- 第3期実施計画における74の施策の配下に位置付けた572の事務事業について、令和5年度の評価を行った結果、「2 目標を上回って達成した事務事業」が20件(3.5%)、「3 目標をほぼ達成した事務事業」が470件(82.2%)、「4 目標を下回った事務事業」が82件(14.3%)、「1 目標を大きく上回って達成した事務事業」及び「5 目標を大きく下回った事務事業」はありませんでした。
- 「2 目標を上回って達成した事務事業」及び「3 目標をほぼ達成した事務事業」を合わせた割合は85.7%であり、一定程度進捗している状況です。
- 「4 目標を下回った事務事業」としては、社会環境や行動の変容などにより、利用者数等が依然としてコロナ禍以前の水準まで回復していないものや、その他、物価高騰等の影響により事業に遅れが生じたものなどがありました。

＜表5 事務事業の基本政策別 達成状況区分の内訳＞

達成状況区分	内容	基本政策1	基本政策2	基本政策3	基本政策4	基本政策5	区分合計	割合
1 目標を大きく上回って達成	●目標に明記した期日より相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ●目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく上回った。	0	0	0	0	0	0	0.0%
2 目標を上回って達成	●目標に明記した期日より早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ●目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ●目標に明記した数値を上回った。	2	1	3	13	1	20	3.5%
3 目標をほぼ達成	●目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ●途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ●目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ●おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	175	59	64	139	33	470	82.2%
4 目標を下回った	●目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ●目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を下回った。 ●所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	37	10	6	26	3	82	14.3%
5 目標を大きく下回った	●目標に明記した期日より遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0	0	0	0	0	0.0%
合 計		214	70	73	178	37	572	100.0%

＜図7 事務事業の達成状況区分別 件数・構成比＞



＜図8 事務事業の達成状況の推移＞

＜事務事業の達成状況区分＞

- 5：目標を大きく下回った
- 4：目標を下回った
- 3：目標をほぼ達成
- 2：目標を上回って達成
- 1：目標を大きく上回って達成

事務事業	第1期実施計画	第2期実施計画	第3期実施計画
H28年度	649	607	572
H29年度	645	606	572
H30年度		606	
R元年度			
R2年度			
R3年度			
R4年度			
R5年度			
全事業に占める2・3の割合	93.7%	92.6%	85.7%

4 川崎市政策評価審査委員会における審議結果

(冊子資料 15 ページ)

(1) 政策評価審査委員会の各部会における審議結果

選定した 12 の施策について、部会における審議の結果、市の内部評価結果（施策の進捗状況：A. 順調に推移している、B. 一定の進捗がある、C. 進捗が遅れている、D. 進捗が大幅に遅れている）は、全て妥当であると判断され、今後より効果的に施策を推進するための意見をいただきました。

＜表 6 政策評価審査委員会の各部会における審議対象施策及び審議結果＞

部会	施策名	施策の進捗状況	内部評価 結果の妥当性
第 1 部会	施策 1-4-4 障害福祉サービスの充実	B. 一定の進捗がある	妥当
	施策 1-4-7 生き生きと暮らすための健康づくり	B. 一定の進捗がある	妥当
	施策 2-2-3 安全で快適な教育環境の整備	B. 一定の進捗がある	妥当
	施策 2-3-1 家庭・地域の教育力の向上	B. 一定の進捗がある	妥当
第 2 部会	施策 1-1-5 安全・安心な暮らしを守る河川整備	B. 一定の進捗がある	妥当
	施策 1-2-1 防犯対策の推進	A. 順調に推移している	妥当
	施策 1-3-2 下水道による良好な循環機能の形成	A. 順調に推移している	妥当
	施策 4-6-1 安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進	A. 順調に推移している	妥当
第 3 部会	施策 4-1-1 アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化	A. 順調に推移している	妥当
	施策 4-2-4 スマートシティの推進	A. 順調に推移している	妥当
	施策 4-9-2 川崎の特性を活かした観光の振興	B. 一定の進捗がある	妥当
	施策 5-2-1 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進	A. 順調に推移している	妥当

（２）政策評価審査委員会における全体的な総括

施策全体の評価結果としては、Ａの「順調に推移している」が 41.9%、Ｂの「一定の進捗がある」が 51.3%となっていることから、第３期実施計画に掲げた目標に向かって一定進捗していると認められました。

また、本委員会での審議結果を踏まえ、次期計画の策定に向けて、より適切な評価となるよう、現在設定している成果指標を改めて見直すとともに、実情を踏まえて適切な目標値を設定するなど、さらに改善を図っていくこと等を期待し、次のとおり意見をまとめました。

① 市民等への積極的な周知・ＰＲの実施

- ・施策は順調に推移しているものの、市民アンケートの結果等において、市民への周知・ＰＲ不足などから、市の取組自体やその目的、成果が適切に市民に伝わっておらず、満足度などの市民の実感につながっていない可能性があるものや、市に対するイメージが固定化されており、事実と市民等の持つイメージが大きく乖離しているものなどが見受けられました（施策 1-2-1、施策 4-2-4 など）。
- ・そのため、取組の推進にあたっては、市民にとって分かりやすく成果を実感しやすい指標の設定を検討するとともに、どうしたら取組や事実が広く正確に市民に伝わるか、どういうメリットや効果をアピールすべきかなど、市民目線に立った施策情報の提供のあり方を検討し、市民の実感の向上につながるよう、施策内容やその成果の周知・ＰＲ活動を行っていく必要があります。
- ・さらに、川崎市が行っている先進的な取組事例などを市民にとどまらず全国に積極的にアピールすることで、市のイメージ向上が図られることを期待します。

② 多様な主体との協働に向けた持続可能な仕組みづくりの推進

- ・施策全体のうち、市民が取り組んだ成果が地域社会や子ども達に還元される仕組みを新たに構築しているものや、地域人材を活用して多世代で学ぶ生涯学習の拠点が形成されているものなど、多様な主体との協働により、取組を推進している事例が見受けられました（施策 1-4-7、施策 2-3-1）。
- ・一方で、取組の周知不足や高齢化等により、地域や活動団体等によっては担い手が不足し、目標を下回っている事例も見られていることから、持続可能な取組となるよう、これまでの担い手にとどまらず、新たな世代をはじめとした多様な主体との協働に向けて、参画のきっかけづくりや人とつながる仕組みづくりなどにおいて、創意工夫や改善を行うことが重要です。

③ より適切で効果的な施策評価と今後の政策形成や取組改善につながる指標構成や成果指標の設定の改善

- ・ 施策全体のうち、施策の直接目標との結びつきが弱い成果指標や、時代に合わなくなり見直しが必要と思われる成果指標を設定している施策など、市の取組によって得られた成果を適切に評価し、今後の効率的・効果的な施策推進につなげる上で、課題のある指標構成や成果指標となっている施策が見受けられました（施策 1-1-5、施策 4-9-2 など）。
- ・ 第 2 期実施計画の総括評価においても指摘しているとおり、より一層の成果指標の改善が必要と考えられる施策も一部残されていることから、引き続き第 3 期実施計画の施策評価において定性的な説明で補足するなどの改善を進めるとともに、次期計画の策定の際には、より適切かつ効果的な施策評価ができるよう、指標構成や個々の成果指標の適切な見直しを進めていく必要があります。

④ 社会経済環境等の実情を踏まえた適切な目標値の設定

- ・ 施策全体のうち、実績が目標を大きく下回り、目標達成が困難となっている施策が見受けられました（施策 5-2-1 など）。こうした場合においても、取組の課題や改善点を明らかにし、適切な見直し等を行いながら取組を推進することは必要なものと考えます。
- ・ 一方で、現状と目標に大きな乖離があり、目標達成が見込めない場合においては、外的要因から目標が未達成となっている可能性について分析を行った上で、目標値について検証する必要があります。そのため、第 3 期実施計画の施策評価において、分析結果について補足するとともに、次期計画の策定の際には、より適切かつ効果的な施策評価ができるよう、目標値の適切な見直しを進めていく必要があります。

⑤ 次期計画における社会経済環境の変化への迅速かつ的確な対応

- ・ 市民ニーズの変化を的確に捉えて、第 2 期及び第 3 期実施計画において、第 1 期計画時に予定されていた取組を変更し、優先度の高い取組を加速させたことで、当初の目標は未達成となったものの、効果的な施策展開につなげている事例が見受けられました（施策 2-2-3）。行政が明確な意思を持って、柔軟な施策展開を行ったことは評価に値すると考えます。
- ・ 次期計画の策定にあたっては、社会経済環境の変化に迅速かつ的確に対応できるよう、より柔軟な運用が可能となる計画とすることが望ましいと考えます。

5 公表スケジュール及び市民意見の募集について

令和 6 年 8 月 22 日（木） 議会（常任委員会）報告、報道機関への情報提供、区役所、図書館等での閲覧、市ホームページへの掲載

令和 6 年 8 月 22 日（木）～ 9 月 30 日（月） 中間評価結果に対する意見募集

参考資料 川崎市政策評価審査委員会関連資料

(1) 川崎市政策評価審査委員会 委員名簿

敬称略、五十音順

委員	氏名	所属部会	所属等
学識 経験者	岩崎 久美子	第1部会	放送大学教養学部 教授
	◎ 川崎 一泰	第2部会	中央大学総合政策学部 教授
	久野 美和子	第3部会	電気通信大学大学院情報理工学研究科 客員研究員
	高尾 真紀子	第1部会	法政大学大学院政策創造研究科 教授
	田島 夏与	第2部会	立教大学経済学部経済政策学科 教授
	○ 松井 望	第3部会	東京都立大学都市環境学部都市政策科学科 教授
市民	尾中 美紀	第2・3部会	中原区在住
	加藤 正巳	第1・2部会	宮前区在住
	竹内 元浩	第1・3部会	川崎区在住

※◎は委員長、○は副委員長

(2) 川崎市政策評価審査委員会の審議経過

令和5年度

第1回

令和6年1月25日(木) 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 委員長及び副委員長の選出
- 2 総合計画第3期実施計画の概要及び令和4年度事務事業評価結果について(報告)
- 3 政策評価制度の概要及び委員会の部会構成について
- 4 部会での審議対象施策の選定基準について

第2回

令和6年3月14日(木) 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 部会の審議の進め方について
- 2 部会で重点的に審議する施策の選定について

令和6年度

第2部会

令和6年5月24日(金) 川崎市役所本庁舎7階総務企画局第5会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - (1) 施策1-1-5 安全・安心な暮らしを守る河川整備【建設緑政局】
 - (2) 施策1-2-1 防犯対策の推進【市民文化局】
 - (3) 施策1-3-2 下水道による良好な循環機能の形成【上下水道局】
 - (4) 施策4-6-1 安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進【まちづくり局】
- 2 審議内容の総括

第 1 部会

令和 6 年 5 月 2 7 日（月） 川崎市役所本庁舎 7 階総務企画局第 5 会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - （1）施策 1-4-4 障害福祉サービスの充実【健康福祉局】
 - （2）施策 1-4-7 生き生きと暮らすための健康づくり【健康福祉局】
 - （3）施策 2-2-3 安全で快適な教育環境の整備【教育委員会事務局】
 - （4）施策 2-3-1 家庭・地域の教育力の向上【教育委員会事務局】
- 2 審議内容の総括

第 3 部会

令和 6 年 5 月 3 1 日（金） 川崎市役所本庁舎 7 階総務企画局第 5 会議室

【議 題】

- 1 審議対象施策の説明及び質疑応答
 - （1）施策 4-1-1 アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化【経済労働局】
 - （2）施策 4-9-2 川崎の特性を活かした観光の振興【経済労働局】
 - （3）施策 4-2-4 スマートシティの推進【環境局】
 - （4）施策 5-2-1 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進【市民文化局】
- 2 審議内容の総括

第 1 回

令和 6 年 7 月 5 日（金） 川崎市役所本庁舎 7 階総務企画局第 5 会議室

【議 題】

- 1 部会における審議結果の報告について
- 2 川崎市総合計画第 3 期実施計画中間評価の結果概要について
- 3 審議結果の総括について